

環境への取り組み

事業と環境の調和を目指して

ダム建設を予定している地域は、ブナ林などの原生的な自然林が分布するなど自然環境に恵まれた地域であり、多様な動植物の生息・生育・繁殖の場となっています。

本事業では、環境影響評価法に基づく、環境影響評価を実施しています。今後は、これに基づき環境変化を把握する調査、検討を行い、必要に応じて対策を講じるなど、環境にあたる影響を最小限になるよう努めていきます。



クマタカ



ミクリ属



落葉広葉樹林



筒砂子川



猛禽類調査



植物調査

ダムをつくる时候にも、
環境のことを
考えてるんだね。

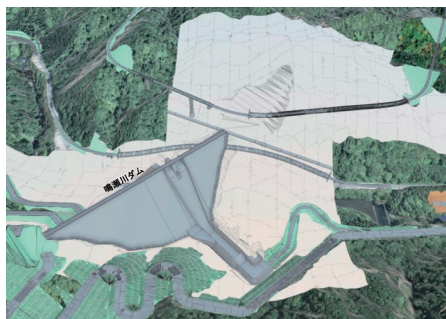


建設ICT等新技術の積極的活用

新技術を活用した事業の効率化を目指して

鳴瀬川総合開発事業工事事務所は、平成31年3月にi-Constructionの取組を先導する「i-Constructionモデル事務所」(全国10事務所)に指定されました。

調査、設計から、施工、維持管理に至るまでBIM/CIM^{*1}を活用する他、建設ICT^{*2}等の新技術を積極的に活用し、事業の効率化、コスト削減を目指します。



CIMモデル



ICT建設機械施工(無人)^{*3}



遠隔臨場^{*4}

※1 BIM/CIM(Building / Construction Information Modeling,Management) : 計画、調査、設計段階から3次元モデルを導入することにより、その後の施工、維持管理の各段階においても3次元モデルを連携・発展させて事業全体にわたる関係者間の情報共有を容易にし、一連の建設生産・管理システムの効率化・高度化を図るもの。

※2 建設ICT: 建設業界における「情報通信技術 (Information and Communication Technology)」の総称のこと。

※3 ICT建設機械施工(無人)は、東北復興 i-Construction ICT活用取組み事例集(国土交通省 東北地方整備局)より引用。

※4 「遠隔臨場はウェアラブルカメラやネットワークカメラを活用し、現場に行かずとも離れた場所から「材料確認」「段階確認」「立会」の臨場を行うこと。

最新のデジタル技術を
活用しているんだね。

